

ケミストリー討論会, 1999, 11, 京都.

◆ その他

- 1) 近藤 隆, Misik V., and Riesz P.: 超音波造影剤AlbunexおよびLevovistによる超音波誘発過酸化水素生成の修飾. Sonochemistry in Japan '99 第8回ソノケミストリー討論会講演論文集, 93-96, 1999.
- 2) 西村次平, 豊沢敬一郎, 近藤 隆: 超音波誘発化学効果と胸腺細胞致死効果に関する周波数依存性. Sonochemistry in Japan '99 第8回ソノケミストリー討論会講演論文集, 97-100, 1999.

保 健 医 学

教 授	鏡 森 定 信
講 師	筧 島 茂 仁
助 手	濱 田 仁 和
助 手	関 根 道 和

◆ 著 書

- 1) 中谷芳美, 鏡森定信: 高齢者の健康相談のあり方. 地域における保健事業の成果とその展望. 153-188, 財団法人日本公衆衛生協会, 東京, 1999.

◆ 原 著

- 1) Kagamimori S., Yamagami T., Sokejima S., Numata N., Handa K., Nanri S., Saito T., Tokui N., Yoshimura T., and Yoshida K.: The relationship between lifestyle, social characteristics and obesity in 3-year-old Japanese children. Child: Care, Health and Development, 25 : 235-247, 1999.
- 2) Kibayasi E., Yamagami T., Sokejima S., Zhang M., and Kagamimori S.: The change of dietary habits and the resultant changes in health of Japanese children. Ecology of Food and Nutrition, 38 : 1-19, 1999.
- 3) Takahashi E., Yoshida K., Sugimori H., Miyakawa M., Izumo T., Yamagami T., and Kagamimori S.: Influence factors on the development of obesity in 3-year-old children based on the Toyama Study. Preventive Medicine, 28 : 293-296, 1999.
- 4) Nakagawa H., Morikawa Y., Okayama H., Fujita Y., Yoshida K., Sakata K., Ishizaki M., Miura K., Naruse Y., Kagamimori S., Hashimoto T., and Ueshima H.: Trends in blood pressure and urinary sodium and potassium excretion in Japan; reinvestigation in the 8th year after the Intersalt Study. Journal of Human Hypertension, 13 : 735-741, 1999.
- 5) 西野治身, 梶田悦子, 畢 力夫, 劉 仲玉, 王福彦, 秦林 金, 趙 毅, 赫 富, 王 延彬, 伊木雅之, 鏡森定信: 日本と中国・内モンゴル自治区の有経女性における骨代謝マーカー. Osteoporosis Japan, 7 : 168-173, 1999.
- 6) 西野治身, 堀井裕子, 田中朋子, 山上孝司, 松倉知晴, 鏡森定信: 思春期児童の骨ターンオーバーに関する縦断的研究: 身体発育および第二次性徴

の影響。日本公衆衛生雑誌, 46: 47-60, 1999.

◆ 総 説

- 1) 関根道和, 鏡森定信: 背景因子の変遷(疫学を踏まえて)。今日の心不全治療 1: 12-13, 1999.

◆ 学会報告

- 1) Kagamimori S., Zhang M., Liu Z., Sekine M., Sokejima S.: Effects of taurine application on visual stress due to VDT works. The 6th International Congress on Amino Acids, 1999, 8, Bonn.
- 2) Kagamimori S., Kibayashi E., Zhang M., Liu Z., Sekine M., Sokejima S.: Comparative studies on taurine and fatty acids concentrations in human serum between Japan Sea side and Inner Mongolia, China mountain districts. International Taurine Symposium 1999, 8, Italy.
- 3) Kibayashi E., Yokogoshi H., Mizue H., Miura K., Yoshita K., Nakagawa H., Naruse Y., Sokejima S., Kagamimori S.: Daily dietary intake of Taurine in Japan. International Taurine Symposium 1999, 8, Italy.
- 4) Sokejima S., Kagamimori S., Sekine M., Naruse Y., Marmot M.: Working hours and SF-36 scores of Japanese civil servants. The XV international scientific meeting of the international epidemiological association, 1999, 8, Florence.
- 5) Morita A., Dohi Y., Iki M., Kagamimori S., Kagawa Y., Matsuzaki T., Yoneshima H., and Marumo H.: Association of the osteocalcin gene polymorphism with bone mineral density in Japanese women. The XV international scientific meeting of the international epidemiological association, 1999, 8, Florence.
- 6) Kagamimori S., Sekine M., Izumi I., Ohmura S., Liu Z., Matsubara I., Sokejima S.: Effects of taking a Japanese style bath on sleep. University of Exeter, The 6th Annual Symposium on Complementary Health Care, 1999, 12, Exeter.
- 7) 伊木雅之, 土肥祥子, 梶田悦子, 西野治身, 鏡森定信, 香川芳子, 松崎俊久, 米島秀夫, 丸茂文昭: ビタミンD受容体遺伝子の開始コドン多型とライフスタイルが骨密度に及ぼす影響。第9回日

本疫学会, 1999, 1, 名古屋.

- 8) 新村哲夫, 田中朋子, 西野治身, 桑守豊美, 劉仲玉, 鏡森定信: 中国内モンゴル女性の血清セレン濃度。第69回日本衛生学会総会, 1999, 3, 千葉.
- 9) 関根道和, 山上孝司, 沼田直子, 笹島 茂, 齋藤友博, 飯田恭子, 南里清一郎, 吉田勝美, 吉村健清, 箕輪眞澄, 鏡森定信: 乳幼児低体重と両親の体格—富山スタディの成績から—。第69回日本衛生学会総会, 1999, 3, 千葉.
- 10) 森田明美, 土肥祥子, 伊木雅之, 鏡森定信, 香川芳子, 松崎俊之, 米島秀夫, 丸茂文昭: 日本人女性におけるオステオカルシン遺伝子多型と骨密度との関連。第69回日本衛生学会総会, 1999, 3, 千葉.
- 11) 王 紅兵, 笹島 茂, 関根道和, 鏡森定信: 超伝導残留磁気測定装置(SQUID)による人間正常組織の残留磁化の研究。第69回日本衛生学会総会, 1999, 3, 千葉.
- 12) 泉 一郎, 関根道和, 山上孝司, 沼田直子, 笹島 茂, 鏡森定信: 一健康小児における肥満度と心臓自律神経機能—。富山県小児保健学会, 1999, 4, 富山.
- 13) 鏡森定信, 大村 栄, 笹島 茂, 浜田富美男: 肩こり, 腰痛, 関節痛の有病率とあん摩指圧師, 鍼灸師および柔道整復師の分布に関する都道府県別検討。第64回日本温泉気候物理医学会, 1999, 4, 東京.
- 14) 新村哲夫, 西野治身, 田中朋子, 中崎美峰子, 伊木雅之, 梶田悦子, 劉 仲玉, 鏡森定信, 畢力夫: 中国・内モンゴル自治区におけるフッ素暴露と骨代謝への影響。第10回微量元素学会, 1999, 7, 東京.
- 15) 泉 一郎, 山上孝司, 笹島 茂, 鏡森定信: 健康小児の睡眠時心臓自律神経活動評価—夜間睡眠時の心拍変動スペクトルと運動習慣の関連—。第54回日本体力医学会大会, 1999, 9, 熊本.
- 16) 鏡森定信, 劉 仲玉, 西野治身, 笹島 茂, 新村哲夫: 中国・内モンゴルの閉経前女性における指骨骨密度に関する追跡調査。第64回日本民族衛生学会, 1999, 9, 弘前.
- 17) 伊木雅之, 森田明美, 池田行宏, 相原宏州, 鏡森定信, 香川芳子, 松崎俊之, 米島秀夫, 丸茂文昭: 日本人女性の骨密度の決定要因に関する無作為標本コホート研究—JPOS Cohort Study—。第1回骨粗鬆症学会, 1999, 10, 倉敷.
- 18) 西野治身, 新村哲夫, 畢 力夫, 劉 仲玉, 張

- 森, 秦林 金, 赫 富, 伊木雅之, 梶田悦子, 鏡森定信: 中国・内モンゴル自治区における骨代謝—第2報フッ素暴露との関係—. 第1回日本骨粗鬆症学会, 1999, 10, 倉敷.
- 19) 山上孝司, 西野治身, 田中朋子, 堀井裕子, 松倉知晴, 鏡森定信: 思春期児童の骨密度と運動関連指標. 第58回日本公衆衛生学会, 1999, 10, 大分.
- 20) 松倉知晴, 西野治身, 山上孝司, 伊木雅之, 梶田悦子, 香川芳子, 松崎俊久, 米島秀夫, 丸茂文昭, 鏡森定信: 前腕骨における末梢骨用QCTによる骨密度とDXAによる骨密度との関係について—JPOS study group—. 第58回日本公衆衛生学会, 1999, 10, 大分.
- 21) 山上孝司, 西野治身, 田中朋子, 堀井裕子, 松倉知晴, 鏡森定信: 思春期児童の骨密度と運動関連指標. 第58回日本公衆衛生学会, 1999, 10, 大分.
- 22) 関根道和, 山上孝司, 沼田直子, 笠島 茂, 飯田恭子, 齋藤友博, 南里清一郎, 箕輪眞澄, 吉田勝美, 吉村健清, 徳井教孝, 鏡森定信: 小児肥満と両親の体格—富山スタディの成績から—. 第58回日本公衆衛生学会, 1999, 10, 大分.
- 23) 林美貴子, 本田幸子, 大江 浩, 北村 敬, 鏡森定信: 富山県衛生研究所における染色体分析の現状と最近の問題—血液・骨髄液—. 第58回日本公衆衛生学会, 1999, 10, 大分.
- 24) 本田幸子, 林美貴子, 大江 浩, 北村 敬, 鏡森定信: 富山県衛生研究所における染色体分析の現状と最近の問題—羊水・流産胎児—. 第58回日本公衆衛生学会, 1999, 10, 大分.
- 25) 中林美奈子, 松原 勇, 鏡森定信: 老人保健事業における寝たきり訪問指導の有効性に関する事例対照研究. 第58回日本公衆衛生学会, 1999, 10, 大分.
- 26) 本間善之, 森 満, 成瀬優知, 鏡森定信: 地域高齢者の家族形態と生命予後, 活動的余命について. 第58回日本公衆衛生学会, 1999, 10, 大分.
- 27) 奥田忠行, 櫻川信男, 佐藤 啓, 大角誠治, 関根道和: 健康人を対象とした血圧変動スペクトル解析における加齢の検討. 第46回日本臨床病理学会総会, 1999, 11, 熊本.
- 28) 張 森, 笠島 茂, 鏡森定信: VDT作業による視覚ストレスに対するタウリンの投与効果. 第15回日本ストレス学会, 1999, 11, 市川.
- ◆ その他
- 1) 中谷芳美, 鏡森定信: 健康相談事業の効果的な進め方に関する研究—新機軸による健康相談の事例検討—. 今後の老人保健事業のあり方に関する調査・研究事業報告書, 188-208, 財団法人日本公衆衛生協会, 1999.
- 2) 鏡森定信: 小児期からの総合的な健康づくりに関する研究 (分担研究). 健康的なライフスタイルの確立に関する研究. 厚生科学研究費助成金 (子ども家庭総合研究事業) 研究報告書, 269-276, 1999.
- 3) 山川正信, 鏡森定信: 第25回日本医学会総会学術講演司会, 老年者の転倒をめぐって. 1999, 4, 東京.
- 4) 鏡森定信, 宇野義知, 三川正人, 藤澤貞志, 室一, 川向文夫, 麻野井英次, 垣内孝子: 平成10年度産業保健調査報告書「THPを指向した労働態様と睡眠に関する研究」. 労働福祉事業団, 富山産業保健推進センター, 1999, 12.
- 5) 鏡森定信, 西 正美, 多田 学, 村山正子, 訪問指導に関する調査研究—今後の訪問指導の在り方に関する研究. 平成10年度厚生省老人保健事業のあり方に関する調査—研究事業報告書. 505-562, 財団法人日本公衆衛生協会, 1999, 3.
- 6) 鏡森定信: 保健医学からみた福祉と健康. 平成10年度ふるさと町民学園学習記録集, 87-88, 上市町教育委員会, 1999, 4.
- 7) 草野文嗣, 辻元 宏, 碧井 猛, 水越久美子, 押領司文健, 堀井とよみ, 中村道彦, 鏡森定信, 桑原治雄, 山川正信, 勝山和明: これからの地域精神保健福祉のあり方に関する研究. 平成10年度地域保健総合推進事業報告書, 日本公衆衛生協会, 1999, 3.
- 8) 鏡森定信: 一世紀半にわたるイングランド・ウェールズの肺結核死亡率の推移から. 厚生統計通信, 373: 2, 1999.
- 9) 中林美奈子, 鏡森定信: 訪問指導事業の成果と展望. 公衆衛生, 63: 636-639, 1999.
- 10) 鏡森定信: 交替制勤務と睡眠. 富山県医師会平成11年度第2回産業保健特定科目専門研究会, 富山県医師会, 1999, 11.
- 11) 関根道和, 沼田直子: 健康小児の肥満度と心臓自律神経活動. 平成10年度厚生科学研究 (子ども家庭総合研究事業) 報告書 (第3/6) 272, 1999.
- 12) 関根道和: 「望ましい生活習慣の定着を目指して」—検査データから見る栄養指導のポイント—砺波保健所管内栄養士協議会 研修会. 1999, 11 小矢部市.

- 13) 関根道和：「健診後の健康生活—循環器疾患を中心として—」食生活改善推進委員会研修会，1999，9 小矢部市。
- 14) 関根道和：「骨粗鬆症とは」健康づくり栄養教室 1999，9 小矢部市。
- 15) 関根道和：「糖負荷試験とは」健康教育 1999，10 小矢部市。
- 16) 関根道和「高血圧を予防しよう」健康講座 1999，11 小矢部市。
- 17) 新村哲夫，田中朋子，西野治身，桑守豊美，劉仲玉，鏡森定信，畢力夫：中国・内モンゴル女性の血清セレン濃度と抗酸化機能について，富山県衛生研究所年報，22：158-162，1999。
- 18) 新村哲夫，西野治身，劉仲玉，鏡森定信，畢力夫：富山県衛生研究所年報，22：226-228，1999。
- 19) 保健医学教室，公衆衛生学教室編：社会医学実習報告書第19集，1999。

公 衆 衛 生 学

教 授	加 須 屋 實
助 教 授	寺 西 秀 豊
助 手	青 島 恵 子
助 手	加 藤 輝 隆

◆ 著 書

- 1) 加須屋實：水質汚染。「分子予防医学」松島綱治編，101-108，医学書院，東京，1999。
- 2) 加須屋實：日本におけるカドミウム汚染と人体影響 神通川流域：イタイタイ病の疫学所見。「カドミウム環境汚染の予防と対策における進歩と成果」能川浩二，倉知三夫，加須屋實編，14-20，栄光プリント，金沢，1999。
- 3) 加須屋實：イタイタイ病を頂点とするカドミウムの人体影響に関する研究の将来展望。「カドミウム環境汚染の予防と対策における進歩と成果」能川浩二，倉知三夫，加須屋實編，115-119，栄光プリント，金沢，1999。
- 4) 青島恵子：日本におけるカドミウム汚染と人体影響 神通川流域：イタイタイ病の臨床所見。「カドミウム環境汚染の予防と対策における進歩と成果」能川浩二，倉知三夫，加須屋實編，9-13，栄光プリント，金沢，1999。
- 5) Kasuya M.: Recent epidemiological studies on Itai-itai disease as a chronic cadmium poisoning in Japan, In Proceedings of the 3rd IWA Specialized Conference on Hazard Assessment and Control of Environmental Contaminants -ECOHAZARD '99-, Matsui S. (Ed.) 207-214, Research Center for Environmental Quality Control, Kyoto University, Otsu, 1999.
- 6) Kasuya M.: Environmental cadmium pollution and its health effects on inhabitants in Japan. Jinzu River basin: Itai-itai disease -Epidemiological findings, In Advances in the Prevention of Environmental Cadmium Pollution and Countermeasures, Nogawa K., Kurachi M., and Kasuya M. (Eds.), 20-26, Eiko Laboratory, Kanazawa, 1999.
- 7) Kasuya M.: Aspect of studies of cadmium on health effects, the climax with Itai-itai disease, In Advances in the Prevention of Environmental Cadmium Pollution and